

市民ネットワーク 市議会報告

2025 年
7 月 22 日発行

連絡先：さくら・市民ネットワーク
電 話：043-462-0618
FAX：043-489-0797
メール：news@sakura-siminnet.com



五十嵐ともみ 伊藤とし子 松島こずえ

6 月市議会（6/2～23）

どうなっている？ ふるさと広場 拡張整備計画

チューリップフェスタなどで市民に親しまれているふるさと広場。市は近隣の農地を買収し、広大な公園にする計画を進めています。これにかかわる事業は、ふるさと広場拡張整備事業、水辺デッキを含めた印旛沼水辺整備事業、草ぶえの丘とふるさと広場を結ぶ新しい市道Ⅱ-31号線の3事業です。観光振興で人口増につなげるとしてはいますが、総事業費は29億6千万円、そのうち市負担分は20億5千万円にも上ります。資材高騰や人件費増による今後の増額も試算せず、経済効果も検証していません。

その上、ふるさと広場の設計業務委託や、完成後、管理・運営する民間事業者の選定はすべて非公開。市民への情報公開を全行おうとしません。市民からは「憩いの場となっている今の広場を残してほしい、税金は子育てや介護に」との声が寄せられています。市民の切実な声を聞くことが、暮らしやすい街づくりの第一歩ではないでしょうか。



困っている世帯への支援

昨年12月、国から物価高騰対策として市に約3億円が予算配分され、そのうち2億5百万円がキャッシュレス決済ポイント還元に使われます。市民に広く薄く行き渡るようにと市は言いますが、市外の買い物客も利用でき、取りまとめや決済事業者に3千万円もの経費が掛かります。物価高騰対策には影響が大きい低所得者への支援策も入っていましたが、佐倉市は選択しませんでした。

水道料金値上げなど、ますます苦しくなる市民の暮らしに寄り添った市政が、今こそ必要です。

夢咲くら館汚水滞留問題 その後

2年前に28億5千万円かけて開館した夢咲くら館。今年2月に悪臭がしたことから、地下図書館の床下に760㎡ものトイレの汚水滞留が発覚しました。なんと汚水管の一部に「圧力のかかる箇所に使用不可」の部材を使ったことが原因で、破断したのです。事業者が全面的に責任を認めて対応。5月24日、全面復旧しました。

床下に汚水が溜まるなど前代未聞。今後どのような影響が出るかわかりません。重大な瑕疵を犯した事業者の技術力は信用できるのか、建物本体は大丈夫なのかと心配になります。専門家を入れた第三者機関を設置して、建物全体を再度検証すべきです。また、契約上の責任を問える2年はすでに経過しており、残るは消滅時効期間(10年)ですが、その後、問題が発生した場合には事業者の責任は問えず、市が改修をしなければなりません。「損害賠償の責任期間の延長を求めるべき」と議会で求めました。

マイナ保険証 無くても大丈夫 7月末 国保保険証 期限切れ

佐倉市では7月末の国保保険証期限切れを目前に、75歳未満のマイナ保険証所持者には「資格情報のお知らせ」を、持っていない人には「資格確認書（健康保険証と同じ）」を発行します。

マイナ保険証は未だに、使用時に認証エラーや資格情報無効、有効期限切れ等で窓口での10割負担トラブルが起きています。また、不安に思う人がマイナ保険証を解除するなど、利用が低迷しています。トラブル防止のため、国は75歳以上の後期高齢者に限り、資格確認書を発行。一方、渋谷区・世田谷区では区長の権限で国保加入者全員に資格確認書を発行します。

トラブルなく健康保険で診療が受けられるよう、佐倉市も国保加入者全員に資格確認書を発行するよう、提案しました。

米不足と物価高騰 学校給食はどうなっている？

昨年5kg2千円台だった米の価格が、1年間で2倍以上に高騰し、5kg4千円台で高止まりする中、国は備蓄米を放出しました。しかし、備蓄米の放出は小手先の対応であり、今後の米政策はどうなるのか、需要と供給のバランスは安定するのか、先行きは不透明です。

佐倉市は物価高騰で食材費が上がる中、給食の質を落とさないよう、保護者から徴収する給食費はおかずなどに回し、米とパンを市の予算で購入しています。米の契約は今年の12月までで、その後は改めて交渉します。油も高くなっているので揚げ物の回数を減らすなど、工夫して乗り切っています。

これからも食材の高騰が続くと報道されていますが、子どもたちが栄養のある給食をお腹いっぱい食べられるように要望していきます。

中学校の制服リサイクル

中学校の入学時には、学校ごとに指定されている制服や体操服等を購入しなければなりません。一式揃えると約10万円かかり、保護者の大きな負担となっています。負担を減らす取り組みが、制服リサイクルです。市内の全中学校ではすでに取り組みされていますが、主にPTAが担っている状況です。しかし、担い手不足で存続が厳しいとの声もあり、市でリサイクルの仕組みを作ってはどうかと市議会で質問しました。今後も制服リサイクルの重要性を訴えていきます。



さくらネット事務所でも回収しています。

市民ネットワーク（松島、伊藤、五十嵐）提出の意見書

意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明党	自由民主党 さくら	共産党	公開と 改革	無会派の会			
日本学術会議を法人化する「日本学術会議法」の廃止を求める意見書	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×
健康保険「資格確認書」の被保険者全員への交付と「マイナ保険証」制度の抜本的見直しを求める意見書	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×
さくら・市民ネットワーク通信は8月20日発行予定		松島 伊藤 五十嵐	平野、櫻井 爲田、高木 数根、望月 齋藤(明)、密本	岡村、押木 鍋田 長谷川	徳永、山本 橋岡 石井(秀)	石井 木崎	三谷 高橋	三井	宇田	稲田	齋藤